こくみん共済 coop NEWS

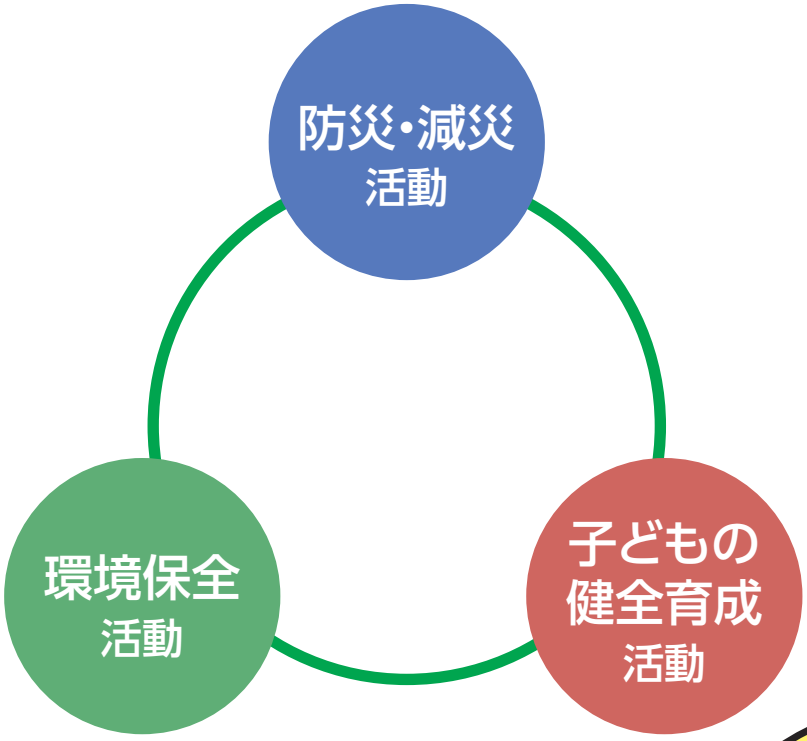
New-Zetwork 2018-2021

2019年版

社会貢献活動レポート

2018年度のご報告

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり





たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」らしい社会貢献活動で「たすけあいの輪」をむすんでいきます。

日頃は、こくみん共済 coop の事業と運動の発展のためにご支援をいただくとともに、社会貢献活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

まず、昨年発生した大阪北部地震・北海道胆振東部地震や西日本豪雨、相次ぐ台風など、大規模な自然災害により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

この間、こくみん共済 coop においては、被災された組合員とそのご家族の一日も早い生活再建と被災地の復旧・復興にむけ、迅速な共済金のお支払いを最優先課題として総力を挙げて取り組んでまいりました。今後も、共済に加入していてよかったと思っていただけるよう、社会的使命を果たしていく所存です。

さて、2018年度は、創立60周年を迎え6月から新たな中期経営政策「New-Zetwork」のもと、取り組みを進めています。

その取り組みのひとつとして、さらに多くの方々に親しんでいただき、愛される存在となるため、新たに愛称「こくみん共済 coop」を定め、活用することといたしました。

「こくみん共済 coop」とは、「こくみん=みんな」のために、「共済=たすけあいの仕組み」を通じて安心を提供する、「coop=協同組合」であることを表しています。取り巻く環境が益々厳しさを増すなか、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という変わらぬ理念の実現にむけ、「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」をひろげていきます。

社会貢献活動においては、「防災・減災活動」「環境保全活動」「子どもの健全育成活動」の3つを重点分野として取り組みをおこないました。

「防災・減災活動」では、様々な機会を活用し、地域の防災意識を高める取り組みを進め、「環境保全活動」では、省エネルギー・緑化活動に取り組みました。いずれも、様々な団体と連携し、組合員の皆さまに参加いただく取り組みとなっています。今後も、大規模災害の常態化が危惧されるなか、引き続き、取り組みの強化をはかっていく所存です。

また、「子どもの健全育成活動」では、創立60周年事業のひとつとして、小学生向け学習まんが「たすけあいのひみつ」を制作し、全国の小学校・図書館に寄贈しました。“たすけあうこと”の素晴らしさを子どもたちに認知・理解していただき、しっかりと未来へ伝えていくことで理念の実現をめざしていきます。

今後も、「お役立ち発想」と「共創活動」によって「こくみん共済 coop」らしい社会貢献活動を展開し、「たすけあいの輪」をむすんでいきます。

これからも、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



代表理事 理事長
中世古 廣司

防災・減災活動

私たちは、防災・減災知識の習得と訓練をすすめることで、地域の防災意識を高め、安心できる社会づくりの構築を目指します。

■ぼうさいカフェ（内閣府防災知識普及モデル事業）を展開し防災・減災知識を普及
■ぼうさいえほん等を活用し地域の防災意識向上に寄与

ぼうさいカフェ

55回開催

ぼうさいカフェは内閣府が防災知識普及モデル事業として、社会全体の防災力向上や国民の防災意識を高めるために推進している取り組みです。地震や台風などの自然災害に対して、誰でもちょっとしたことで自分の身を守り、被害を小さくすることができる防災・減災知識の普及を目指しています。

今後より一層、様々な組織との共創活動をすすめ、「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」を広げる活動として発展させていきます。



災害パネルや防災関連書籍の展示（三重）



ぼうさいカフェ（福岡）

ぼうさいえほん、ぼうさいクイズなど

東日本大震災にて被災した子どもたちの心のケアと健全育成を目的に絵本のよみきかせ会を開始し、その後さまざまなツールを活用し地域の防災意識向上に取り組んでいます。

小さな子どもたちとその保護者の防災意識を高めるための「ぼうさいえほん」を制作し、より楽しく記憶に残るように「ぼうさいクイズ」へ展開。全国各地の幼稚園・保育園やイベントで活用しています。

また、家庭や地域で楽しく防災知識が学べるよう、ホームページで「防災かるた」「防災レシピ」などを公開しています。



ぼうさいえほん（滋賀）



ぼうさいクイズ（東京）



おうちで防災かるた（HP）

共創活動

奈良推進本部では自治体や様々な生協組織、関係組織の皆さまとの共創により内閣府後援事業として防災啓発イベント「紡災ヴィラ」を開催し、約500名にご参加いただきました。



2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ。

「共済を通じて、誰もが安心して暮らせる社会をつくる」
そのために全労済は60年にわたって「たすけあいの輪」を
少しずつ広げてきました。
さらに多くの人に親しんでいただくための新しい姿を表す愛称、
それが「こくみん共済 coop」です。
これからも「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすび、
「安心のネットワーク」をひろげていくために。
「こくみん共済 coop」は、皆さまとともに、歩み続けます。

「こくみん」とは「みんな」のこと。
多くの人と「たすけあいの輪」をむすびます。

「共済」とは「互いにたすけあう仕組み」のこと。
必要とされる保障を、一人ひとりの生活に合わせて提供します。

「coop」とは 協同組合（生協）のこと。
人と人をむすび、そこに集う人たちの生活を守ります。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

環境保全活動

私たちは、省エネルギー・緑化活動等に積極的に取り組み、豊かな自然環境や生物を守り、次世代に引き継いでいくことを目指します。

■「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」による寄付で環境活動団体を支援
■組合員・協力団体の皆さまとともに海岸防災林の再生活動を継続実施

「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」による寄付



2008年より「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」の契約状況、決算実績に応じて、環境活動団体への寄付を実施しています。2018年度は、「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」に加入されている組合員の皆さまの契約76,558件（2018年5月末実績）によって3団体に総額2,000万円を寄付することができました。

また、寄付先団体とともにおこなう活動として、海岸防災林の再生活動も継続実施しています。

76,558件
（2018年5月末実績）
2,000万円
（寄付総額）


国土緑化推進機構　被災地支援　熊本幼稚園植樹


日本環境協会　エコクラブ　全国フェスティバル


日本自然保護協会　自然観察指導員

2018年度の寄付先・主な活動

公益社団法人 国土緑化推進機構	公益財団法人 日本環境協会	公益財団法人 日本自然保護協会
◆緑の募金 （海岸防災林の再生支援等） ◆みどりの祭典 （全国植樹祭、全国育樹祭等） ◆緑の少年団の育成　など	◆こどもエコクラブ （環境学習・活動支援） ◆エコマーク事業 （環境配慮消費行動の促進） ◆地球温暖化対策推進設備支援事業　など	◆絶滅危惧種を守る活動 （イヌワシ、オオルリシジミ等） ◆自然観察指導員による 自然保護教育 ◆自然で地域を元気にする活動　など

海岸防災林再生「ぜんろうさいの森・宮城」


植樹活動

2017年11月より東日本大震災で被災した海岸防災林（宮城県・岩沼地区）の再生活動をおこなっております。国土緑化推進機構・組合員・協力団体の皆さまと協力し、約800本のクロマツ苗を植樹し、2018年度も間伐・育樹に取り組みました。





海岸防災林の再生活動

子どもの健全育成活動

私たちは、将来を担う子どもたちの健全な成長を願い、学習支援等、地域の“きずな”を大切にした子育て支援をすすめます。

■「良質な文化芸術に触れ豊かな心を育んでいただきたい」という願いを込め文化フェスティバルを開催
■子育て応援イベントへの主催、出展で子育てを支援
■「たすけあいのひみつ」の制作・寄贈により“たすけあうこと”の学習を支援

文化フェスティバルを全国で開催

30ヵ所 43,706名

「次代を担う子どもたちとご家族に、良質な文化芸術に触れ豊かな心を育んでいただきたい」という願いを込めて、“子どもから大人まで、それぞれの世代で楽しんでいただける”をキーワードに1992年から毎年開催している舞台公演です。

創立60周年を記念して地方公演の実施規模を拡大し、2018年度は30ヵ所で開催。43,706名の皆さまに楽しんでいただきました。



「KINJIRO!」(静岡)



「わくわくファミリーステージ」(茨城)



「ピーターパンとウェンディ」(岐阜)



「1日お母さん大学」を開校

2016年より「お母さん大学」と共催で「1日お母さん大学」を開校しています。

「1日お母さん大学」とは、多くのお母さんが地域の方々と気軽に集い、ともに学び、つながりあう場として開催している子育て講演会や食育講座です。2018年度は、広島・岡山・愛知で開催しました。

愛知では子育て講演会「お母さんはスゴイ!」、食育講座「みそまるワークショップ」、おにぎりとみそまるを食べながらの「懇談会」を開催しました。参加者からは「“お母さんは○○です”と全員が発表するときに、子どもから“お母さんはお花です”と言ってもらえてうれしかった」「子連れでも来やすくてよかった。みそまる作りが楽しかった(参加者のお父さん)」「お母さん同士でつながることができればいいと思った」などの感想が寄せられました。



1日お母さん大学

「お母さん大学」とは?

(株)トランタンネットワーク新聞社が企画・運営する「お母さんの心」を学ぶ大学(学びの場)。2008年春に開校。お母さん大学の対象は、お母さんのみならず子育てを応援する人を含む老若男女の共学(響学)。キャンパスは家庭で、先生は子ども、『お母さん業界新聞』をテキストとしている。



よみきかせ(石川)

子育て応援イベント、保育園、幼稚園等でのよみきかせ

地域の子育て応援イベントに出展し、テレビ局のアナウンサーがおこなう大型絵本のよみきかせ会や、労働者福祉協議会やNPO法人等と協力し保育園や幼稚園等でよみきかせ会を実施しています。

小学生向け学習まんが「たすけあいのひみつ」を制作・寄贈

25,500冊

“たすけあうこと”の素晴らしさを子どもたちに認知・理解してもらい、未来へ伝達していくことが当会の理念の実現につながる活動と考え、株式会社学研プラスの小学生向け学習まんが「まんがでよくわかるシリーズ」の「たすけあいのひみつ」を学研と協同企画・制作しました。制作した冊子(25,500冊)は学研を通じて全国の小学校(特別支援学校含む)および公立図書館に寄贈しました。



社会課題の解決に向けて

被災地を支援する取り組み

2016年度から「平成28年熊本地震」の被災地支援活動をおこなっています。2018年度は地域の教育委員会・学校・社会福祉協議会等のご協力をいただき、仮設住宅・みなし仮設住宅に居住されている方々をコンサートや映画、野球観戦等に招待しました。仮設住宅へのポスティングによって約810名ものご参加があり、「引きこもりがちだったが参加して元気が出た」等の言葉をいただきました。

また、2018年度に発生した大規模災害(「大阪北部地震」「2018年7月豪雨」「北海道胆振東部地震」)に対し、皆さまからお寄せいただいた義援金募金に当会から一部追加し、自治体(大阪府・岡山県・広島県・愛媛県・北海道)に各500万円、日本赤十字社を介して750万円の義援金を贈呈しました。



野球観戦と選手との交流(熊本)

社会福祉団体への支援

1981年より「障がい者」「高齢者」「災害対策」を対象とした支援活動をおこなっている社会福祉法人などの団体を継続して支援しています。2018年度も外部有識者等による審査委員会にて下表の25団体を選定し助成金を交付しました。

No	団体名	事業名
1	学校法人日本社会事業大学	地域共生社会とまちづくり ～住民と創るソーシャルワーク啓発事業～
2	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会	福祉用具専門相談員向けの介護保険・在宅で利用できる「医療系サービス用語解説小冊子」制作及び質の向上に関する事業
3	一般社団法人日本福祉用具供給協会	福祉用具の利用効果を判定する適切な評価スケール選定ポイント集作成事業
4	社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会	視覚障害者のための社会福祉に関する情報提供支援事業
5	公益社団法人虹の会	首都圏近隣メディカルキャラバン事業
6	一般社団法人日本介護支援専門員協会	国民の在宅医療・介護連携推進に関する普及・啓発事業 「認知症高齢者等を地域で支えるための市民公開講座」
7	一般社団法人シルバーサービス振興会	外国人技能実習制度における技能実習生の労働安全衛生の確保に関する啓発普及事業
8	特定非営利活動法人 日本障害者フライングディスク連盟	全日本障害者・高齢者フライングディスク競技大会 事業
9	社会福祉法人日本身体障害者団体連合会	地域における障害理解に向けた啓発促進事業
10	社会福祉法人日本盲人職能開発センター	「視覚障害者の権利 ～日本盲人会連合70年の活動～」普及促進事業
11	一般社団法人福祉自治体ユニット	介護相談員活動の普及促進事業
12	社会福祉法人日本点字図書館	視覚障害者の情報収集支援事業
13	公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会	現場における介護従事者の多様化と介護福祉士養成教育に関する調査研究
14	社会福祉法人日本盲人福祉委員会	特別支援学校における視覚障害児童・生徒に対する防災教育の実施状況等に関する調査事業
15	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツの普及拡大事業
16	公益財団法人テクノエイド協会	車椅子シーティングに関する情報提供事業
17	社会福祉法人日本盲人会連合	視覚障害教育のあり方に関する実態調査
18	社会福祉法人日本介助犬協会	身体障害者の自立と社会参加のための介助犬普及啓発活動 ～介助犬希望者への正しい情報提供動画の作成～
19	社会福祉法人聴力障害者情報文化センター	手話通訳士実態調査
20	社会福祉法人視覚障害者支援総合センター	JR山手線・視覚障害者(点字版)への情報提供事業
21	特定非営利活動法人日本せきずい基金	Walk Again 2019　脊髄再生シンポジウム事業
22	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	SON紹介用ハンドブック制作事業
23	一般財団法人全日本ろうあ連盟	デフリンピック日本招致事業
24	社会福祉法人全国盲ろう者協会	「全国盲ろう者大会」の開催
25	公益社団法人全国脊髄損傷者連合会	平成31年度シンポジウム事業

地域貢献助成事業

73団体
19,250,140円

1992年にスタートし、27回目となる本助成事業は「防災・減災活動」「環境活動」「子どもの健全育成活動」に取り組む市民団体、NPO法人等を対象に、助成によって活動を充実・発展させていく団体を広く募集しました。

2018年度は73団体に総額19,250,140円を助成し活動を支援しています。

助成団体の活動報告・意見交換会等を開催し、地域貢献の輪をむすぶ活動をおこなっています。



スマイル子育て&
ストップ孤育てプロジェクト（滋賀）



あそぼうさいまなぼうさい（愛知）

No	都道府県名	団体名	事業名
1	北海道	あさひかわサケの会	石狩川の環境保全と生態系の回復を通して、石狩川上流部での野生のサケ資源の回復事業
2	北海道	こども食堂北海道ネットワーク	こども食堂運営サポートと食堂間連帯活動推進
3	北海道	サロベツでのびのび育てるママの会	子どもの発育発達に応じたカラダ作り事業
4	北海道	特定非営利活動法人陽だまりの家	子どもから高齢者まで「楽しいから集まる、一緒に参加するから交流が生まれる」世帯間交流事業
5	青森県	特定非営利活動法人 子育てオーダーメイド・サポートこもも	おさんぽひろば　はれるや
6	青森県	一般社団法人男女共同参画 地域みらいねっと	いつでも起こりうる災害をよりよく生きるために～地域住民とともに地域を支える一員に～
7	青森県	特定非営利活動法人 難病心身障がい児者を支えるみなの会	地域・難病障がい患者家族における災害時のための研修会～受援力を高める～
8	岩手県	岩手山麓自然学校	町の天然記念物チョウセンアカシジミ保護!高畑牧野から広げる人里のデワノトネリコ雑木林づくり
9	岩手県	CAP岩手	児童養護施設と学童クラブで過ごす子ども達に自尊感情を高める教育プログラムを実施するための事業
10	宮城県	カワラバン	サケがつなぐ、ひと・まち・しぜん
11	宮城県	ハッピーピース	発達障がいの理解と、家族や支援者を支えあう居場所つくり
12	宮城県	あじ島冒険楽校	あじ島冒険楽校～東日本大震災で傷付いた子どもたちのために～
13	宮城県	東北大学災害伝承プロジェクト“もしとさ”	東日本大震災の教訓を「未災地」に伝える防災活動
14	山形県	だがしや楽校　だがしや倶楽部	「だがしや楽校」子どもたちのための街頭紙芝居とアートイベント
15	福島県	非営利団体KAKECOMI	まかないこども食堂たべまな
16	茨城県	見てみようよ!常総市の会	水害の記憶を未来につなげる『ステッカーツアー』のための連続セミナーの運営
17	栃木県	エコネットかぬま	エゴマ栽培とレシピ・報告書作成による循環型社会の創造
18	栃木県	特定非営利活動法人 チャイルドラインとちぎ	子どもの声を聴き子どもの心と命を守る活動
19	埼玉県	笹目川の環境を守る会	笹目川の環境保全活動
20	埼玉県	青少年多文化学びサポート（ESMY）	青少年多文化にほんごサポート
21	千葉県	五育総合研究所	不登校経験者が企画・運営する「家族学校」
22	東京都	東久留米子どもプロジェクト	誰でも来られる子ども食堂、無料学習室
23	東京都	ほんむら子どもプロジェクト	学びと遊びの支援・子ども食堂を兼ねる「ほんむらっこ食堂」を通じた豊かな居場所・地域づくり
24	東京都	enega和	自習室の運営及び「人がつながる」イベント開催
25	東京都	はらっぱレンジャーあそび隊	外遊びを活かした地域の子育て支援の地盤づくり活動
26	東京都	地球市民交流会	災害時の在住外国人支援に携わる国際地域共生の担い手づくり
27	神奈川県	海をつくる会	東北復興支援　アマモ場復活10年プロジェクト
28	神奈川県	P35（パパさんGO!）	子育てパパの学べる交流会「パパのがっこう」　全6回
29	神奈川県	かみのき塾・たんまち塾	無料学習支援塾（かみのき塾・たんまち塾）の継続的運営による多世代コミュニティの構築
30	長野県	特定非営利活動法人長野県PS・ふくしネットセンターやさしなの	輪っと集まれ!中高生・若者　ほっとキッチン
31	長野県	ながの災害・防災ネットワークみらい	地域の防災力、減災力を高めるために～避難所運営体験者の講演と防災イベントの開催～
32	静岡県	みらいネット浜松	すごろくで楽しく学ぼう防災減災<出前講座とすごろく交流大会>ー子供も障がい者も高齢者もー

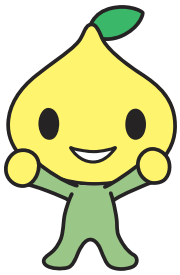
No	都道府県名	団体名	事業名
33	富山県	高岡外国人の子どものことばと学力を考える会（通称：アレッセ高岡）	進学を目指す外国にルーツを持つ子どもたちのための学習支援教室
34	愛知県	NPO法人　高齢者住まいる研究会	「防災ひゃくねん教育プラン」ファイナルseason
35	愛知県	特定非営利活動法人あったかハウス	離婚等により別れて暮らす親子の交流を支援する活動「お出かけプロジェクト新設」
36	愛知県	ナーベルプラ座	家庭での性教育に効果的に携る～保護者向けの性教育講座を通して～
37	愛知県	中村区竹の子ボランティアサークル	なごや中村子ども食堂・ちいきの食卓ネットワークプロジェクト
38	愛知県	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク	あそぼうさい・まなぼうさい
39	愛知県	ママ達のつなげる防災活動 《守ろう子どもと赤ちゃん》	『つなげる防災活動』～知って考え行動することで守れる命がある～
40	岐阜県	あしたの支援室	地域の子ども達のあしたを拓く支援事業
41	三重県	環境学習サークルみえ	楽しい体験型環境教室開催で”地球温暖化防止を伝えます2019”
42	滋賀県	NPO法人CASN	晴嵐みんなの食堂
43	滋賀県	スマイルプロジェクト	スマイル子育て&ストップ孤育てプロジェクト
44	滋賀県	特定非営利活動法人　わっか	子どもの居場所づくり事業
45	奈良県	なんとカンファレンス実行委員会	なんとカンファレンス2019夏
46	京都府	特定非営利活動法人 セントラルライフ京都	過疎地農業体験活動
47	京都府	乙訓不登校を考える親の会『大地』	不登校・ひきこもり問題を地域で考え、支え合う活動
48	京都府	ほっこりスペース あい	不登校・ひきこもりの青少年の自立支援事業
49	京都府	BLC	サマーキャンプ
50	京都府	給食人サークル	まちのきゅうしょくしつ（離乳食教室）
51	京都府	ふくちやまCAP	安心して子育てするためのワークショップ
52	大阪府	特定非営利活動法人　いちばん星	宿泊体験「信太山青少年野外活動センター」
53	大阪府	にしなり☆あそぼパークProject	にしなり☆あそぼパーク
54	兵庫県	神鋼かこがわ森の会	地域の自然環境.生態系を守る活動
55	兵庫県	子育て交流の広場ほっぺ	子育て交流の広場　ほっぺ
56	島根県	くにびきエコクラブ	環境創作劇上演とエコ講座開設による環境に優しい人づくり
57	島根県	オヤジーンズ ～自由な心を忘れない大人に～	アウトドアプロジェクトINますだ～つながりからうまれる新たな一歩パート3～
58	鳥取県	大山道ロングトレイル事業協議会	大山山麓の山里における春の女神ギフチョウ生息地の保全再生活動
59	岡山県	みみっとの会	聴覚障がい児・者を支援する事業
60	広島県	片山自治会	水害対応マニュアルの作成および訓練
61	山口県	周防地域づくり協議会	災害時の連携・助け合いの仕組みづくり
62	徳島県	NPO法人　環境とくしまネットワーク	「四国・過疎地区における創生エネルギー活用した次世代につなぐ地域活性プロジェクト」 …過疎廃校活用編
63	香川県	海守さぬき会	故郷の海レスキュー隊計画2019
64	香川県	415のわ	まちじゅう図書館の開設
65	福岡県	カラフル・パレット	外出の難しい方に、キラキラのイルミネーションと、楽しい音楽を届ける活動
66	福岡県	NPO法人ゆい	わいわいひろば（みんなの居場所）
67	福岡県	地域で子育て応援の会　おそらのしたで♪	災害時に役立つ　～いざというときのおんぶとだっこ～
68	熊本県	木山仮設団地少年少女合唱団 スマイルナンバーワン	被災地の子ども合唱団が被災地を元気づける音楽活動
69	大分県	NPO法人子育て応援レストラン	子育て応援レストラン～すべては親子の笑顔の為に～
70	大分県	NPO法人 しげまさ子ども食堂－げんき広場－	子ども食堂と地域子ども会で行うプレーパーク活動
71	大分県	特定非営利活動法人 ART PROJECT OITA	「こどもの時間プロジェクト」
72	沖縄県	沖縄県聴覚障害児を持つ親の会	親子シーカヤック&ゆし豆腐作り体験会
73	沖縄県	necoツーリズム	減災ピクニック　水辺編

「ICMIF 5-5-5マイクロ保険開発戦略」への支援

「ICMIF 5-5-5マイクロ保険開発戦略」は、新興5ヵ国(コロンビア、インド、ケニア、フィリピン、スリランカ)において、それぞれ5年間の取組期間の中で低所得者層500万世帯の、相互扶助型マイクロ保険の普及を目指す活動です。当会は、ICMIF(国際協同組合保険連合)の理事・会員団体として、同戦略プロジェクト立ち上げ当初より議論に参画し、活動資金の援助をおこなっています。

ICMIFの各会員組織のさまざまな支援により、これまでに新興国の低所得者層約120万世帯・約610万人に相互扶助保険や保障に関する教育・啓発活動が広がっています。

「社会貢献債」「グリーンボンド」を取得



資産運用方針においてESG運用(環境・社会・企業統治に配慮している発行体を重視・選別して行う運用)を実施していくこととし、JICA(独立行政法人国際協力機構)が発行した社会貢献債※1、東京都が発行している「東京グリーンボンド」※2を取得しました。

※1　JICAが発行する社会貢献債は、開発途上国に対する円借款等の有償資金協力の資金を投資家から調達するもので、その資金は、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用されます。

※2　「東京グリーンボンド」発行による調達資金は、「スマートエネルギー都市づくり」「自然環境の保全」「生活環境の向上」「気候変動への適応」に関連する事業等に充当されます。

7才の交通安全プロジェクト

横断旗の寄贈
108,840本

くるまの補償「マイカー共済」「自賠責共済」「交通災害共済」事業をおこなう協同組合として「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」という想いから、みんなで子どもたちを事故から守っていく取り組みとして、本プロジェクトを企画しました。

108,840本の横断旗を全国の児童館等に寄贈することができました。



【プロジェクトの展開内容】

- ◆プロジェクトスタート宣言ムービーで7才児の事故の危険性を周知
- ◆マイカー共済見積もり1件につき1本の横断旗を全国の児童館等に寄贈
- ◆子どものための交通安全デジタル絵本を公開

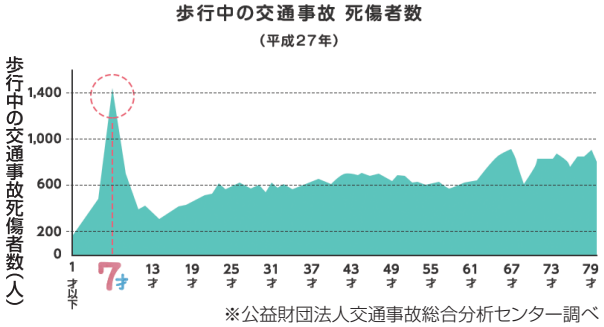




横断旗寄贈イベント(東京)



児童館職員による横断旗の活用



※公益財団法人交通事故総合分析センター調べ

小学生になり友だちも増え、行動範囲もぐっと広がる7才。
しかし、大人に比べて目線が低く、まだ注意力も育まれていない7才の子どもたちは、他の年齢に比べて突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。

全国の拠点で展開した主な活動

北海道推進本部

地域のイベントで段ボールベッド組立体験や災害時に役立つアイデア等を紹介



青森推進本部

「ねぶた祭」に協賛し、太鼓山車への広告掲載、祭りに参加

秋田推進本部

「秋田竿燈まつり」に参加



新潟推進本部

「生活協同組合まつり」に「防災・減災コーナー」を出展し、防災・減災関連作成体験（紙ぶるる・新聞紙スリッパ）を実施

栃木推進本部

特別養護老人ホームでの介護ボランティア活動、タオルの寄付

群馬推進本部

消防局との連携により火災予防ステッカーを作成、各家庭へ配布

埼玉推進本部

マイカー共済新規加入件数に応じた交通遺児援護基金への寄付活動を継続

東京推進本部

『60周年記念文化フェスティバル』を開催し、鑑賞料を全額日本赤十字社の被災地支援活動等へ寄付

石川推進本部

子育て情報誌の撮影会で「よみきかせ会」「ぼうさいクイズ」「ピットくんの写真撮影会」等を実施

福井推進本部

「防災・減災フェア2019」で防災関連ブースを出展

愛知推進本部

「お仕事チャレンジ」、「セーフティーチャレンジ」で地震ザブトン体験、自転車シミュレーター体験等を実施



岐阜推進本部

児童福祉施設等での人形劇公演に助成

中部統括本部

「子育て応援団すこやかふくい」で「ぼうさいクッキング」の実演と「自転車シミュレーター」を用いた安全運転の診断を実施



滋賀推進本部

60周年記念文化フェスティバル ミュージカル「KINJIRO!」を上演

大阪推進本部

「親子で学ぼう!防災ワークショップ」を開催

兵庫推進本部

1.17「ひょうご安全の日のつどい」に出展

広島推進本部

広島県労福協へ協賛し、環境保全・家族ふれ愛体験活動を実施

香川推進本部

「ぼうさいカフェ2019」を連合や労福協と開催

高知推進本部

「子育て応援団 すこやか高知」でぼうさいえほんよみきかせを実施



福岡推進本部

「ぼうさいカフェ2019inイオンモール福岡」を開催し防災実験ショー等を実施

熊本推進本部

仮設住宅の花壇作成、住民の皆さまをコンサート、遊園地、野球観戦等に招待

大分推進本部

スポーツフェスタ秋の大運動大会でぼうさいカフェを開催

沖縄推進本部

「働く仲間のゆめ・みらい基金」で子育て家庭を支援

発行

こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）

https://www.zenrosai.coop/

〒151-8571
東京都渋谷区代々木2-12-10 ブランド戦略部 ブランド統括課

「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

【2019年7月発行】
90c19Z068.19.07.14,000KD